

まちづくりと一体となったLRT導入計画ガイダンス

平成17年10月

国土交通省都市・地域整備局

都市計画課都市交通調査室

目次

まちづくりと一体となったLRT導入計画ガイダンス

はじめに

第1章 LRT導入の背景と必要性	1
1-1. 公共交通の機能強化の必要性	1
(1) バス・地方鉄道等のサービス水準低下の実態	1
(2) 交通手段分担の実態	3
(3) 公共交通の優位点	4
1-2. LRTが活用される領域とLRTの特徴	6
(1) トランスポーテーションギャップの存在	6
(2) トランスポーテーションギャップを解決するLRT	7
(3) LRTのコンセプト	9
(4) LRTの特徴	9
第2章 LRT導入計画のポイント	13
(1) 計画づくりのフレームワークの工夫	14
(2) 導入効果を高めるための工夫	15
(3) 円滑な実現を図るための工夫	16
第3章 LRT導入の対象となる領域	29
(1) LRTの表定速度	29
(2) LRTの輸送力	33
(3) LRTの整備コスト	36
(4) LRTの都市への導入パターン	37
第4章 まちづくりと一体となったLRT導入計画づくり	44
4-1. 導入計画づくりのフレームワーク	44
4-2. まちづくりの目標設定	45
4-3. 施策パッケージの設定と評価	49
(1) 施策パッケージの設定	49
(2) 施策パッケージの評価	51
4-4. 都市交通施策・まちづくり施策・ソフト施策との統合	56
(1) 都市交通施策との統合	58
(2) まちづくり施策との統合	73
(3) ソフト施策との統合	78
4-5. LRT導入計画の検討	83
(1) 路線計画	83
(2) 導入空間	89
(3) 停留場	96
(4) 車両基地・変電設備	100
(5) 都市環境に配慮したデザイン	103
(6) 運行計画	106
(7) 需要予測	114
(8) 事業採算と運営計画	119
4-6. 整備効果の検討	131
(1) 整備効果の検討目的	131
(2) 整備効果の検討時に留意すべき事項	131
(3) 事業評価	135
4-7. 市民との協働	136
(1) 市民との協働の重要性	136
(2) 市民との協働に向けた取り組み方	136
(3) 多様なツールの積極的な活用	138
第5章 法手続きと関係機関協議	143
(1) LRT（路面電車）の適用法	143
(2) 法手続きのフレームワーク	144
(3) 関係機関との協議	146

